

授 業 科 目	義肢学実習 I		
教 育 内 容	専門分野	義肢学	
担 当 教 員	丸山貴之、吉岡久恵、大谷巧、那須祐介		
学 年	2	単 位 数	3
開 講 時 期	通年（水曜日 1-4 限） （前期 51 回、後期 58 回）	時 間 数	実習（180 時間）

■ 授業概要

本科目では、下腿切断者の協力のもと下腿義足の採型、修正、製作、適合の実習を行う。よって、製作・適合技術は当然として、下腿切断者と円滑なコミュニケーションをとることも本科目の課題となっている。

製作する下腿義足の種類として、PTB、PTS、KBM、TSB の 4 種類のソケットタイプのプロジェクトを行い、各プロジェクトごとに採型から仮合わせまでの一連の作業を行い義足の製作・適合技術を習得する。また、各プロジェクトでの仮合わせにおける作業内容を適合レポートにまとめ、プレゼンテーションおよびディスカッションを行い、各学生の経験を共有することで適合についての理解を深める。

本科目と同時に進行する義肢学 I での講義内容を理解していることが前提となるため留意すること。

なお、小テストは義肢学 I の時間内に行うこともあるので注意すること。

■ キーワード

下腿義足の種類と機能、義足の体重支持と懸垂、下腿義足の適合とアライメント

■ 到達目標

- 1) 下腿義足の製作・適合技術について理解し実践できる。不適合の原因を理解し、対処できる。
- 2) 義足歩行と義足アライメントについて理解し、調整を実践し不適合に対処できる
- 3) ソケットタイプごとのソケット適合の特徴を理解し適合調整を実践できる
- 4) 下腿切断の原因疾患と、それに適した義足（ソケットタイプやパーツ選択等）の考え方を理解する
- 5) 下腿切断者に対し、作業に必要な的確な指示と、円滑なコミュニケーションを行うことができる

■ 授業内容

第 1 回	P T B	オリエンテーション PTB ソケットの採型練習	
第 2-5 回		採型	小テスト （モデル 7 名）
第 6-9 回		修正（→乾燥）	小テスト
第 10-13 回		ソケット製作、ソケット埋め込みブロック切り出し	小テスト
第 14-15 回		ソケット埋め込み、義足組立	小テスト
第 16-18 回		義足組立	小テスト
第 19-22 回		仮合わせ	小テスト （モデル 7 名）
第 23-26 回		PTB 式下腿義足の適合レポート発表	
第 27-28 回	P T S	PTS ソケットの採型練習、アングルブロック製作	
第 29-32 回		PTS ソケットの採型	小テスト （モデル 7 名）
第 33-36 回		修正	小テスト
第 37-40 回		ソケット製作、義足組立（発泡樹脂）	小テスト
第 41-43 回		義足組立	小テスト

第 44-47 回		仮合わせ	小テスト (モデル 7 名)
第 48-51 回		PTS 式下腿義足の適合レポート発表	
第 52-53 回		KBM ソケットの採型練習	
第 54-57 回		KBM ソケットの採型	小テスト (モデル 7 名)
第 68-61 回		修正 (→乾燥)	小テスト
第 62-65 回	K	ソケット製作、ソケット埋め込みブロック切り出し	小テスト
第 66-69 回		B	ソケット埋め込み、義足組立
第 70-73 回	M	義足組立	小テスト
第 74-76 回		義足組立	小テスト
第 77-80 回		仮合わせ	小テスト (モデル 7 名)
第 81-84 回		KBM 式下腿義足の適合レポート発表	
第 85-86 回		TSB ソケット (ライナー式) の採型練習	
第 87-90 回	T S B	採型	小テスト (モデル 7 名)
第 91-94 回		修正、ソケット成形 Demo	小テスト
第 95-98 回		ソケット成形、義足組立	小テスト
第 99-101 回		義足組立	小テスト
第 102-105 回		仮合わせ	小テスト (モデル 7 名)
第 106-109 回		TSB 式 (ライナー式) 下腿義足の適合レポート発表	

■評価方法

本科目の評価は、「製作義足」、「適合レポート」、「小テスト」、「期末試験」の各項目での評価を総合して行う。
注 1) 製作義足は仮合わせ当日までに完成できなかったものは 0 点とするので注意すること。その場合、仮合わせも実施できないこととなり、適合レポートも 0 点となるので注意すること。
注 2) 適合レポートは発表の前日 19:00 までに提出し、前日のうちに資料として配布を完了しておくこと。期限外のものには評価を 0 点とするので注意すること。

〈評価配分〉製作義足 35%、適合レポート 35%、小テスト 10%、期末試験 20%

■教科書

義肢学 第 3 版
義肢製作マニュアル 第 2 版
義肢装具のチェックポイント 第 9 版
切断と義肢 第 3 版

■留意事項

<実務経験のある教員>

丸山貴之：専任教員として 17 年間勤務の傍ら当センター病院リハビリテーション部併任にて下腿義足の採型、製作、適合業務に従事。

吉岡久恵：民間施設にて約 9 年従事。その後、教員（常勤・非常勤）として 20 年勤務。同時に東京都等の非常

勤職員として義肢装具の更生相談に携わる。専任教員の傍ら当センター病院リハビリテーション部併任。

大谷巧： 義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に15年間従事。専任教員として1年間勤務の傍ら当センター病院リハビリテーション部併任。

那須祐介： 民間施設にて約6年従事し専任教員として2年間勤務の傍ら当センター病院リハビリテーション部併任。